

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4-(3)	例年通りの運営推進会議の開催は難しい状況の中で、コロナ感染症の状況を見ながら開催されたことに敬意を表したい。家族とのふれあひ会の開催も困難であろうと推察され、この会議の果たす役割は大きいものと思われる。多くの家族の参加により、多岐にわたった意見交換に期待したい。	コロナ禍以前のように運営推進会議を開催し、今後の運営に役立てたい。また、ご家族とのふれあひ会も以前同様に開催し多くのご家族に参加していただくようにする。	運営推進会議の開催の案内をし、多くのご家族や関係者に参加して頂けるようにする。また、新しく入居されたご家族に対しては2ヶ月毎の運営推進会議の大切さや6ヶ月毎のご家族とのふれあひ会の楽しさを伝え参加して頂く。	0ヶ月
2	10-(6)	家族への情報発信が安心に繋がっておられることは、家族へのアンケートに表れている。感染症予防徹底により、運営推進会議や家族とのふれあひ会の開催もままならないと思われる。このような状況であるからこそ、家族の不安材料を払拭すべく情報発信を継続いただき、要望等を収集いただきたい。	ご家族との信頼関係を保ち、どんな小さなことでも気軽に色々な意見が出せる環境にし、要望を収集していきたい。	毎月、担当職員からのお手紙や写真でご利用者のご様子を報告し、何かあれば小さな事でもお電話で連絡するようにしています。また、2ヶ月毎の運営推進会議の場や6ヶ月ごとのご家族とのふれあひ会、担当者会議等でご様子を報告し、ご家族の要望を収集して解決していきたい。	0ヶ月
3	35-(13)	有事に備え、避難場所には何を備えているかなどを確認しておくことも一案である。家族の訪問を控えている現状もあり、ホームの安全管理への取組について積極的に伝える事で、更に家族の安心に繋がっていただきたい。	グループホーム岱明の里の建物が使えない場合は、玉名市の指定避難場所(一時避難場所)の岱明ふれあひ健康センターに避難することをご家族に伝えてあります。この施設は、洪水、土砂災害、高潮、地震、津波時の利用可能な施設です。	当ホームは、非常災害対策委員会を設置し、非常災害対策に関する指針を作成、耐震構造やスプリンクラー、窓ガラスには飛散防止フィルムカーテンは防災加工等に設備はもちろん、非常食3日分、オムツ等1週間分を備えています。	1ヶ月
4	36-(14)	コロナ感染症への対応として玄関内に置かれた検温記録簿については、名前が分からないようにする等検討されることを期待したい。	プライバシー保護の観点から、コロナ感染症対策としての検温記録を来場者カードに記入し、見えないように箱に入れて頂いている。	外部評価で検温記録簿だと他の訪問者の情報が見えてしまうと指摘がありましたので、プライバシーの観点から直ぐにご来場者カードへ変更し、箱に入れるようにしました。	0ヶ月

5	40-(15)	食事中は視聴されていないテレビについては使用を控えてもよいと思われる。また、職員が腰を下ろして食の進み具合などを見守ることで、ゆっくりとした雰囲気での食事とされることが望まれる。また、献立表の職員コメント欄には、次回に活かせる一言や記入者名もあるとよりコメントへの意識が高まると思われ、検討いただきたい。	ゆっくり落ち着いた雰囲気ですべて頂けるようにする。また、食事を楽しんで頂けるように、献立もご利用者の好みのおかずや味付けを取り入れていくようにする。	食事介助時は職員も椅子に座り、ゆっくり落ち着いた雰囲気で行う。また、献立表のご利用者のコメントは、「おいしい」だけでなく、次回の献立に生かせるようにコメントを書くようにする。翌月の職場ミーティングにて通達。	1ヶ月
6	45-(17)	浴室は清潔に管理されており、安全面からシェーバーについては別の場所での管理が必要と思われる。	安全に入浴して頂くため、シェーバーなどはケースに入れて保管する。	シェーバーを入れる中が見えないようなケースを準備し、保管する。また、浴室は、利用時以外は施錠している。	0か月
7	52-(19)	玄関内に下げられた一面の透明のシートには、季節の切り絵などを施すことで柔らかな雰囲気を作っている。感染症への対策の徹底とともに、引き続き入居者の居心地の良さにも職員の工夫の継続が期待される。	コロナ感染症対策としての透明シートではあるが、そのままでは味気ないので季節感等工夫し、今後も来訪者やご家族、ご利用者が心地よく過ごして頂けるようにしていく。	当ホームでは毎月職員達で、日々の玄関やホール、パブリックスペースの飾り付けや、催しや外出等を企画している。玄関のシートの飾りもその中の一つとして行っている。	0か月
8	54-(20)	コロナ感染症により面会が制限されている家族にとっては、居室の様子も気になる点と思われる。引き続き、家族との連携や安心につながる発信に期待したい。	コロナ禍で思う様に面会が出来ない状態だったので、ご家族との信頼関係を保つためにも出来るだけ細やかな情報の提供を行い、ご家族との連携や安心につながるようにしたい。また、国や地域の状況に応じて出来るだけ面会して頂けるようにする。	日頃のご利用者様の様子をより細やかにお手紙で情報提供していく。手紙の内容として、ご利用者の健康に関して病院受診等、日頃の様子に関して催しや外出等を報告し、受信などは電話でその都度連絡し、状態を報告している。	0ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。